

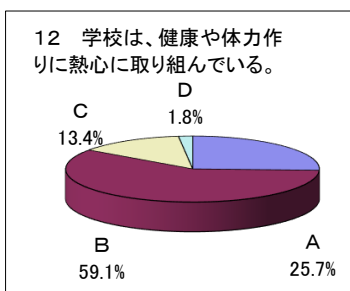
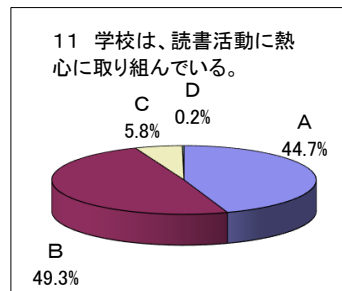
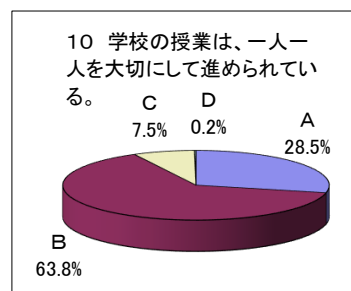
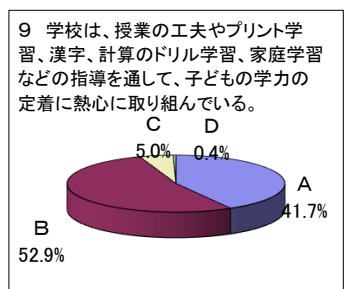
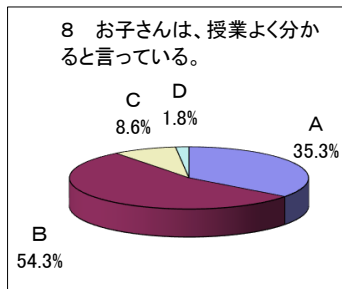
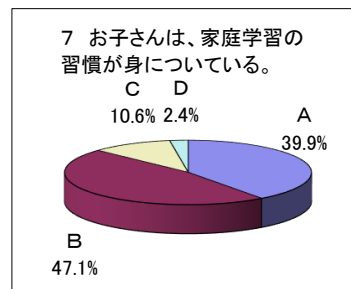
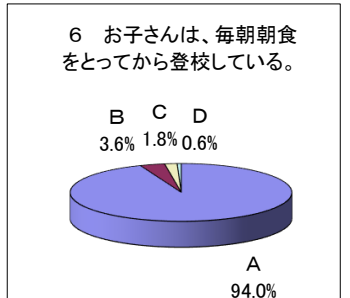
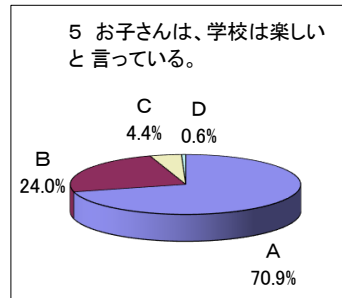
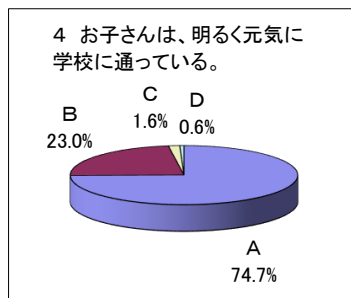
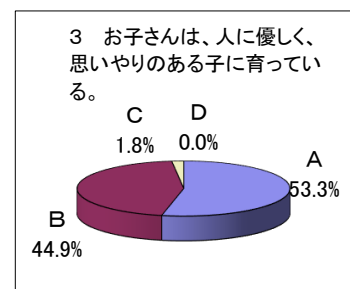
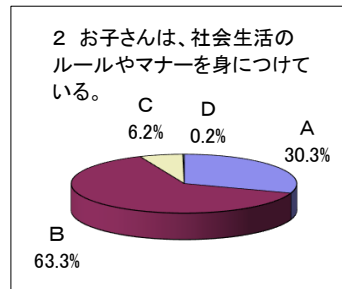
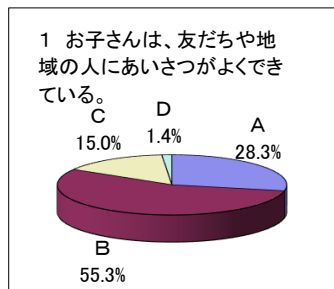
保護者の皆様

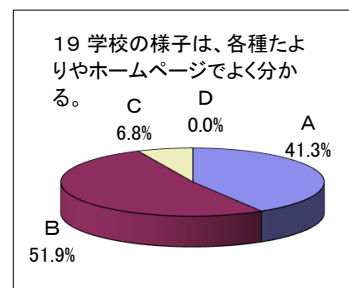
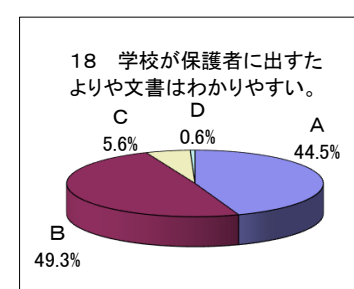
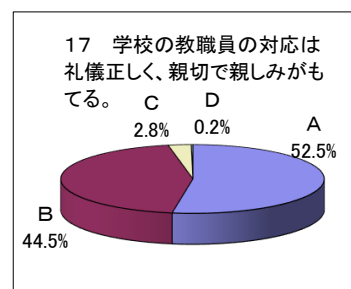
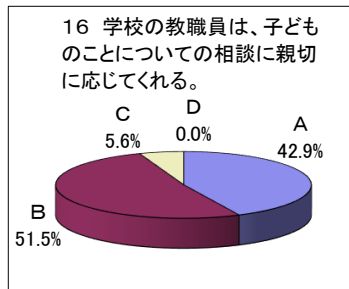
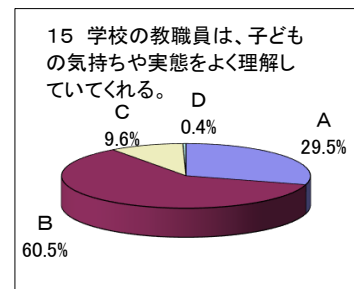
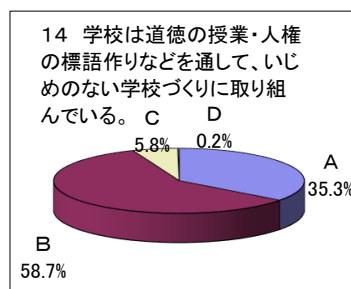
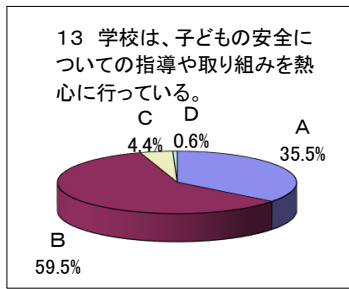
一宮市立萩原小学校
校長 渡邊 彦 尚

保護者アンケートの結果について

向春の候、皆様方にはますます御清栄のことと存じます。日頃は本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、先日実施しました「教育活動に関するアンケート」の結果をご報告します。お忙しい中、Googleformのアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。





令和2年度のスタートは、新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言が発令され、4、5月が臨時休校になり、家庭で過ごすことを余儀なくされました。そのため、「7お子さんは家庭学習の習慣が身につけている」の回答では、「A思う」と「Bどちらかといえば思う」を合わせた肯定的な評価の割合が87%で、昨年度より5%上昇しました。学校再開後は、未履修の補充やコロナ対策のため制限の多い授業形態になりましたが、教職員は、学校の新たな生活様式に対応しながらも「分かる・できる・身につく授業」を推進し、楽しい授業作りに努めています。「5お子さんは学校は楽しいと言っている」では、AB合わせて95%「8お子さんは、授業が楽しく分かりやすいと言っている」では、AB合わせて90%の回答がありました。また、今年度から新学習指導要領がスタートし、デジタル社会に対応する教育改革が進行中です。本校にもタブレットが3学期に100台導入され、すでに基本操作を習得し、授業で活用を始めています。これからも授業はもちろん、教育活動のあらゆる場面で活用していきたいと考えています。一方、コロナの影響で、毎朝、検温や健康チェックが優先になり、登校指導や挨拶運動は捗らず、「1お子さんは、友だちや地域の人にあいさつがよくできている」の回答では、「Cどちらかといえば思わない」「D思わない」を合わせた否定的な評価の割合が16%で、昨年度より3%増えるという結果になりました。今後もウィズコロナの教育活動が続くと思われませんが、子どもたちが楽しく安心して学校生活を過ごし、明るくあいさつや返事ができる学校づくりに努めるとともに、教育相談やアンケート調査により児童の実態把握、いじめの早期発見、解決及び解決後の見守りに努めていきます。その他、いただいたご意見・ご要望についても、萩原小学校の教育活動を進めていく上での参考にさせていただき、今後も学校と家庭、地域の皆様のご支援・ご協力のもと、信頼される学校づくりに努めていきたいと思っております。